

# ひかりのこ

年度末園便り

聖ミカエル幼稚園  
2018年3月15日

## 「神様と人とつながる」

ご卒園・ご進級 おめでとうございます。月日はあっという間に流れ、もうこの日がやってまいりました。一日入園や入園式で、私は、「お子さんだけでなく、お母さんもお父さんも幼稚園の生活を楽しみましょう。たくさんお友達を作ってください。それは、お子さんがおともだちと仲良くできるようになるためにも、とても大切なことです。」とお話したと思います。

現代は、インターネットやテレビの普及もあり、買い物も情報収集も、生身の人を介さなくても何でもできてしまいます。私もよく、ネットショッピングを利用しますし、人との連絡も電話を使わず、インターネットで済ませてしまうことがよくあります。

その便利さとは裏腹に、自殺や引きこもり、精神的な疾患を持つ人も増えています。人とうまくやっていけない人が増えているのです。

私たちは、子どもたちに「お友達と仲良くしてほしい。」と願います。これからもたくさんの仲間とともに、笑ったり、泣いたり、喧嘩したりしながら「人」として成長してほしいと願います。でも他人と仲良くする、というのはそんなに簡単なことではありません。短時間で身につく力ではないのです。そこには、たくさんの「経験」と「時間」がとても必要になってきます。

私たちミカエルの先生方もそうです。会議の中で伝えあうだけでなく、保育後、時には夜遅くまで、職員室で語り合うことで、相手を理解し、つながりが生まれてきます。

在園の保護者の皆さん、同じ子どもを持つ同士、どうぞたくさん語り合ってください。お父さん、お母さんが人とのつながりを大切にしていけば、子どもたちはきっとお友達を大切にできるようになります。

卒園児の保護者の皆様、これからもPTA活動から遠ざからずに、積極的に参加してってください。子どもはあっという間に大きくなってしまいます。子どもを介した保護者通しのつながりは、子どもを守るためにも、子どもに社会性をつけさせるためにもとても大切です。

そして、卒園する子どもたちと保護者の皆様が、これからも神

様につながってくれることを願っています。これからの長い人生の中で、心の深い根っこに、神様の存在がいつもありますように、そして皆さんを支え続けますように、願っております。

日曜日の9時からの日曜学校や、10時30分からの主日礼拝にぜひいらしてください。お待ちしております。

園長 渡部良子

## キリスト教保育

### 「永久欠番」

『永久欠番』というタイトルの中島みゆきの曲があります。永久欠番とは、プロ野球などでチームに多大な貢献をした選手の背番号を、他の選手が使わずにずっと欠番にするということです。ほとんどの選手は、自分の背番号を次の選手に譲りますが、永久欠番はごくわずかな人にしか適用されない、名誉あることなのです。

人は一生の間に来ることは限られています。そして自分が生きた痕跡は、自分がいなくなればやがて忘れられることを思うと、何とも言えない孤独と寂しさに包まれます。また、どんなに頑張っても先が見えない、心に喜びが生じない時に、私たちは自分の小ささを嫌というほど味わいます。

しかし、中島みゆきは「100億の人々が忘れても 見捨てても宇宙(そら)の掌の中、人は永久欠番」と歌います。私たちに命を与えた大きな存在があって、どんな人生を歩んだとしても、私たちはその存在の中で永久欠番のように記憶され、祝福され、大切にされているというメッセージです。

卒園していく子どもたちも、一人ひとりが永久欠番です。聖ミカエル幼稚園で大切にされたように、これからも神様の掌のなかで、守られ、育てられ、祝福されてそれぞれの人生を造り上げていくのです。安心して旅立ってください。子どもたち、そしてご家族の上に、神様の恵みと祝福がありますように。

チャプレン 下澤 昌